

りではないでしょうか。

親神様は私達人間が、陽気ぐらしをするのを見て、共に楽しみたいとの思召から、人間をお創り下され、陽気ぐらしに必要な環境を整えて下さいました。火・水・風のお恵みをはじめ、生きて行く上に必要な食べ物やその他一切をお恵み下さっています。動物・植物・鳥・魚・虫から微生物に至るまで、命あるもの全てが役割を担い、秩序を保って共存できるように、自然界の隅々までご配慮下さいました。その親心により、人間をはじめめとする生き物は、お互いに持ちつ持たれつして、共に親神様のお創り下さった自然の理に従って生きてきました。動物は酸素を吸って二酸化炭素を吐き、植物は二酸化炭素を吸って酸素を吐く。それでバランスが取れて共存しているようにご配慮下さいました。長い間、人間は自然に従い、合わせ、活かしてをやのお恵みを十分に頂いて暮らしてきました。自然界とも調和を保ち、空気も川も海もきれいでした。森の木も沢山ありました。しかし物が大量に作

られるに伴って、それらが汚染され、生き物達も棲めなくなり、自然界のバランスが崩れてきました。

私達の衣食住や、その他使う物の原材料は、どれもこれも親神様がお育て下さったものばかりです。私達が食べる農作物や海山の幸も、全ては親神様がお創り下さりお育て下さったものばかりです。好きなようにふんだんに使ってきていますが、そこに感謝の心はあるでしょうか。感謝の心があれば、慎む心が生まれてくると思いますが、それはあるでしょうか。

たん／＼となに事にてもこのよふわ 神のからだやしやんしてみよ (三一四)

この世は神様のお体であり、人間はその一部を親神様からお借りしているのです。私達人間の存在の根本をお示し下さっています。人間は親神様の懐住まいとも聞かせて頂きますが、親神様の懐で、自然の環境を頂き、他の命ある物と一緒にすつぽりと抱きかかえられているのです。そして懐の中のものを全てをお借りして暮らしています。その懐か

ら沢山の物を掘り出し、有り余る程の物を作り出した結果、処理に頭を抱える程大量のゴミが排出されるようになりました。その中には食べ物も含まれています。飽食日本に暮らす私達ですが、世界には飢えて苦しんでいる兄弟が大勢いる事を思い、贅沢を慎みたいものです。「これ位はいいだろう」という私達の心の緩みに気をつけないと、これ位の基準がどんどん楽な方へ傾いて、まだ使える物や、まだ食べられる物まで、ゴミとして捨てられることになりかねません。

教祖は『物は大切にしなされや。生かして使いなされや。すべてが神様からのお与えものやで。』と、神様のお与えを大切にすることを教え下さいました。また『菜の葉一枚でも粗末にせぬように』とお教え頂きます。菜の葉一枚でも人間は創ることが出来ません。親神様の火水風のご守護、大地のお恵みを頂いて、親神様にお育て頂くのです。

皆親の懐住まいです。何不自由なく親神様のご守護を頂戴して生かされているのです。

人の御守護	
初	中
12月	
2席	6席
累計	
21席	87席

その事を自覚して、日々に感謝の気持ちを持って、ご恩返しを心掛けなければ、芯を見失って欲のほこりのまま、人間はますます親神様の思召とかけ離れた自分勝手な道に進んでしまいます。そして私達の存在の元である母体を傷つけ弱らせて、ついには私達自身が住めないような世の中になってしまうのではないのでしょうか。その「こわきあぶなき道すじ」を案じているのに、私達が少しもその事を思わずに、自分中心の欲のまま生きていることを、親神様はもどかしく思い、お知らせ下さったのではないのでしょうか。まず私達はをやの懐で全てをお借りして生かされている存在である事を自覚して、日々ほこりを払い、親神様のお恵み、お与えに、感謝と慎み的心を持つことが大切な基本であると申わせて頂きます。

### 青年会ひのきしん隊

12月1日、おやさとふしん青年会ひのきしん隊第873回隊に網走分会より今泉康太さん(誠綱)が1人で入隊させて頂いた。今年二度目の入隊で両肩の身上を抱えながらも、勇んで24日間の隊期を勤め切らせて頂いた。おぢばでの伏せ込みに、たくさんの方の勇み種を頂いた様子だった。お心添え頂きました皆様には心よりお礼申し上げます。

今年には網走分会として11月隊に5名で入隊させて頂く予定となっております。どうかご協力頂けますようよろしくお願い致します。

